令和元・２年度

福井市男女共同参画推進地域事業
実 施 報 告 書

～男女共同参画推進ブロック（8ブロック）の取組～

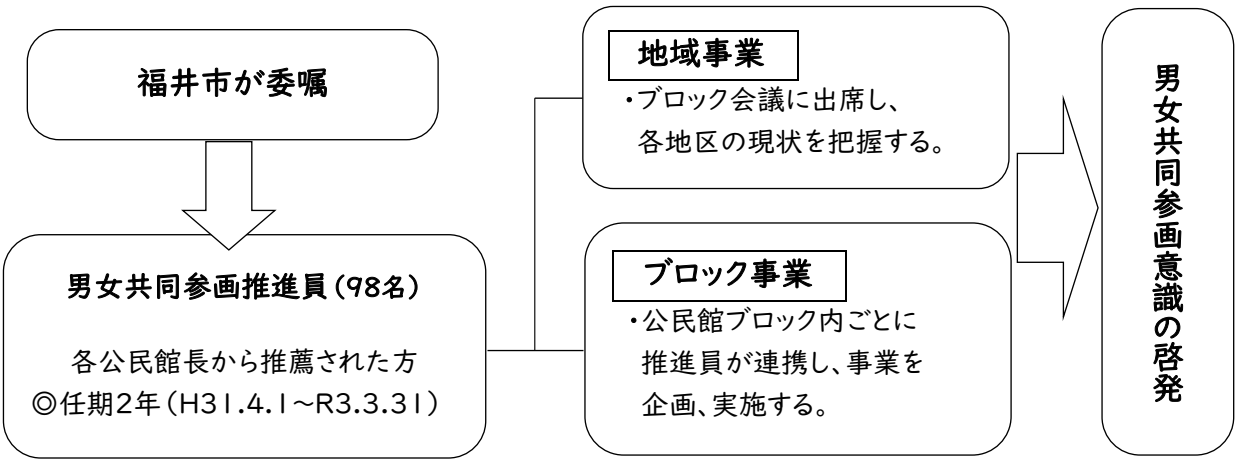
福井市男女共同参画推進地域事業とは･･･。

男女共同参画社会の実現には、地域社会における市民の男女共同参画意識の醸成が極めて重要です。

このため、市が委嘱する98名の「男女共同参画推進員」が中心となって、生活に最も身近な地域で、男女共同参画に関する啓発活動を行っています。

また、推進員同士の連携を図り、啓発活動をより効果的なものにするため、8つの公民館ブロック単位での活動を実施しています。

この実施報告書では、令和元･2年度に実施した各ブロックの取組を紹介します。



男女共同参画都市福井宣言

わたしたちは自立･平等･平和を基本理念として男女があらゆる分野にともに参画し
ともに築くやさしさと活力ある福井をめざしここに「男女共同参画都市」を宣言します。

1

お互いの立場を思いやり みんなで家事や育児や介護を
協力しあう「おもいやり家庭」をつくります

2

自らが意識を変え世代を超えたふれあいに努め
ともに参画し個性を生かしあう「ふれあい地域」をつくります

3

家庭での男女共生をもとに能力や機会を生かし
対等なパートナーシップで励みあう「きょうせい職場」をつくります

平成10年3月16日制定

【令和元･2年度　男女共同参画推進地域事業の概要】

市民生活に密着した地区（公民館区）を基本に、市が委嘱する男女共同参画推進員が中心となり、啓発活動を展開する。

任期2年間の活動

【1年目の活動】･事業の企画、実施
･中間報告会への出席

→

【2年目の活動】･事業の実施
･市民フォーラムへの出席

各公民館長の推薦 → 男女各1名 → 男女共同参画推進員（ 98名 ）

- あたごブロック
- 不死鳥ブロック
- みなみブロック
- あずまブロック
- 足羽ブロック
- 川西ブロック
- 光ブロック
- 九頭竜ブロック

令和元･2年度　活動テーマ

①家庭における男性の活躍の推進
②地域活動等における女性の参画の推進
③男女共同参画の視点を踏まえた防災
④地域の課題解決を目指す

《2年間のスケジュール》

	月日	活動
1年目（R元年度）	5月11日	**●委嘱式･基礎研修会** ･委嘱状交付　･地域事業の目的、概要説明　･推進員の役割と活動内容
	5～1月	**●ブロック会議** ･取り組む事業のテーマを決定 ･事業企画（数値目標設定）、実施 **●第1回ブロック会長会議** ･事業の進捗状況の確認
	2月	**●中間報告会（活動内容を全ブロックが発表）** ･1年間の活動報告　･数値目標の達成度および結果の分析
	3月	**●第2回ブロック会長会議** ･1年間の活動の振り返り、意見交換　･2年目に向けて
2年目（R2年度）	4月～1月	**●事業実施** ※テーマは1年目と同じ ※1年目の結果をふまえ目標や内容を見直す **●第1回ブロック会長会議** ･事業の進捗状況の確認
	1月	**●市民フォーラムの開催** ･事例報告会
	3月	**●事業実施報告書の作成** ･2年間の活動報告 **●第2回ブロック会長会議** ･2年間の活動の振り返り、意見交換 ･次年度に向けて

目　次

ページ

◆ あたごブロック・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
[木田・豊・足羽・湊]

◆ 不死鳥ブロック・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
[春山・宝永・順化・松本・日之出・旭・日新]

◆ みなみブロック・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
[清明・東安居・社南・社北・社西・麻生津]

◆ あずまブロック・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
[和田・円山・啓蒙・岡保・東藤島]

◆ 九頭竜ブロック・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
[西藤島・中藤島・河合・森田・明新]

◆ 光ブロック・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
[安居・一光・殿下・越廼・清水西・清水東・清水南・清水北]

◆ 川西ブロック・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
[大安寺・国見・鶉・棗・鷹巣・本郷・宮ノ下]

◆ 足羽ブロック・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
[酒生・一乗・上文殊・文殊・六条・東郷・美山]

あたごブロック（8名）　会長 川上 光雄

（木 田）川上 光雄、道傳 千代子　（ 豊 ）倉矢 憲芳、島田 弘子　（足 羽）宮﨑 孝司、松本 邦子
（ 湊 ）高橋 武志、前川 孝子

活動テーマ

①家庭における男性の活躍の推進

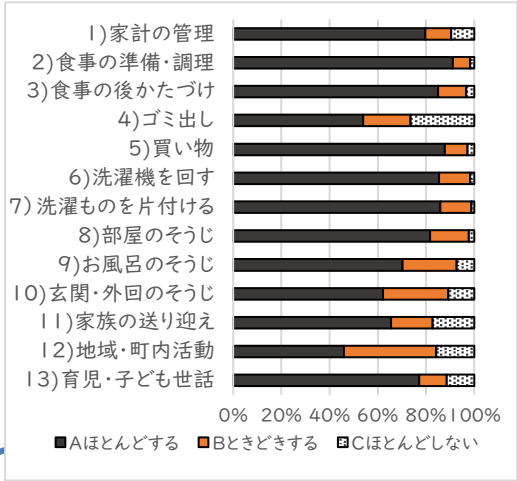
主な取組内容

R1

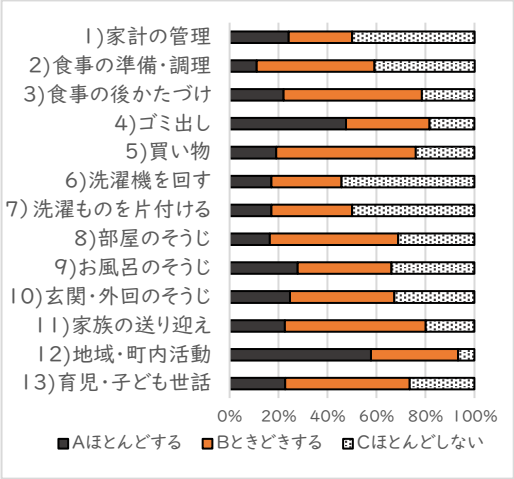
男女の家事分担状況調査

家庭での家事分担状況について、各地区の公民館まつり等で住民にアンケートを実施（344名が参加）

【女性】



【男性】



調査結果を見てみると･･･

- 食事の準備や洗濯、掃除等の家事の大半は女性に頼っている
- 家事従事を「ほとんどする」と回答した男性は2割程度
- ゴミ出し、地域･町内活動には、男性の5割が参画

R2

男女の家事分担状況の調査結果パネル展

あたごブロック全体と地区別の結果を公民館まつりで展示

R1～2

- ブロック会議の開催 （事業の企画、打合せ等）
- 地区の防災訓練等への参加呼びかけ（チラシ配布） など

ま と め

男女の家事分担状況の調査結果を地域の方々に見ていただいたので、地域において男女共同参画社会となっていくように、男性が積極的に家事に取り組んでいくための意識啓発活動を継続して行っていきたい。

ブロックから一言

あたごブロックでは、男女の家事分担状況を調査しました。食事の準備や洗濯、掃除の三大家事を「ほとんどする」と回答した女性が8割以上いることに対し、男性は約2割という結果でした。

年代別では、30代の男性の活躍が見られたので、時間はかかるが、将来的には男女が家事や育児、介護等を分担し合う男女共同参画社会になっていくのではと思っています。

不死鳥ブロック（14名）　会長 山口 洋和

（春 山）酒井 康次、荻原 藤美枝 （宝 永）宮川 正義、清水 智子　（順 化）宇野 俊之、本田 慎子
（松 本）前田 謙二、志々場 博子 （日之出）前田 誠一郎、前川 紀美枝 （ 旭 ）山口 洋和、法山 恭子
（日 新）佐藤 収一、青木 津喜子

活動テーマ

①家庭における男性の活躍の推進

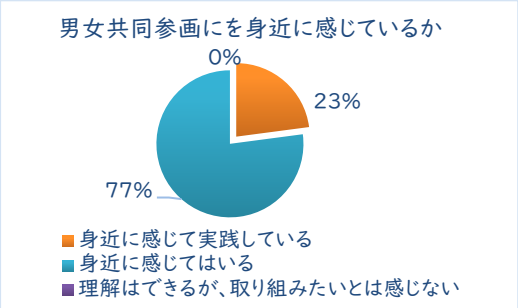
主な取組内容

R1

講演会の開催

講師に前田紘一氏を迎え、「平成から令和への男女共同参画」と題して、家庭生活の中で、男女が互いに協力し合うことの大切さや家事をお願いする際の表情、声のトーン等を学んだ
・11月30日 旭公民館 73 名参加

参加者アンケート（回答者55名） ※一部抜粋



R2

「家庭における男性の活躍の推進」を目指し、学習

市が作成した「家事・育児シェア」見える化シートを参考に、家庭における男性の家事や育児を促すために、どのように啓発をするとよいかを推進員が各自で考案

R1～2

・ブロック会議の開催 （事業の企画、打合せ等）
・地区の防災訓練等への参加呼びかけ（チラシ配布） など

ま と め

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、思うような活動ができなかった。各自が、男性の家事育児参画について学んだことを、今後の活動に活かしていきたい。

ブロックから一言

不死鳥ブロックは、福井市の中心部である春山・宝永・順化・松本・日之出・朝日・日新の7地区で構成されたブロックです。
当ブロックでは、「家庭における男性の活躍の推進」のテーマの元、男性の家事分担や積極的な参加について議論を深めてきました。
最近の若い世代は、家事分担を当然のこととして捉える現状を踏まえて家事などに興味のない男性でも、快く参加する方法を提案したいと考えました。
人を集めることが難しい時節柄ですが、逆に、コロナ禍で家にいる時間を有効に使い、できる家事を増やす」という方向で活動しました。

みなみブロック（12名）　会長 嶋田 清巳

（清 明）田中 嘉久、立野 美恵子　（東安居）田賀 俊成、溝越 裕紀枝　（社 南）三仙 祐二、岩田 京子
（社 北）嶌川 光司、間 朋子　（社 西）嶋田 清巳、久保 麗子　（麻生津）高村 俊、内田 裕美子

活動テーマ

①家庭における男性の活躍の推進

主な取組内容

R1　**「家事・育児シェア」見える化シートを活用したアンケート調査**

家庭での家事分担状況について、各地区の公民館まつり等で住民にアンケートを実施（743名が参加）

分類	家事項目
料理	食事を作る
	食器を下げる
	食器を洗う
掃除	リビング・寝室等
	風呂・洗面所・トイレ
	ゴミ集め・ゴミ出し
洗濯	干す/取り込み
育児	身の回りの世話
	幼稚園等の送迎
介護	身の回りの世話
	病院等の送迎

男性の参画が、三大家事（料理、洗濯、掃除）でいずれも60%以上

それでも･･･「まだまだ、女性の負担が大きい」
「みんなの考えを知りたい」
「若い世代の声も知りたい」
「男女共同参画への意識を更に高めたい」

R2　**男女共同参画「川柳コンテスト」の実施**

各地区の公民館の協力を得て、募集チラシや応募箱の設置
入賞作品は、公民館だよりやパネル展示を通して、住民に周知
応募総数：10～70代の男女から149作品

家事育児　祖父母加勢の　ワンチーム

パパとママ　いつもおりょうり　なかよしだ

ペダル踏む　買い物かごに　妻のメモ

R1～2
・ブロック会議の開催（事業の企画、打合せ等）
・地区の防災訓練等への参加呼びかけ（チラシ配布）など

まとめ

地域住民の男女共同参画への関心が低く、周知・啓発方法が重要と感じた。今回の川柳コンテストのように、家庭や地域での男女共同参画に理解が深まるような企画の実施がカギであり、どのようにして住民に関心を持ってもらうかが課題である。

ブロックから一言

男女共同参画推進地域事業の推進員としての２年間は、「あっ」という間でした。市と会長の綿密な連携のお陰で、新任者７名、再任者５名でのスタートではありましたが、各推進員はLINEやEメールを通じてのフォローアップ等に積極的に取り組み、内容の濃い定例会議を開催することができました。2年目の「川柳コンテスト」では、公民館等への依頼、応募箱作り等に全員がそれぞれ工夫を凝らし実施したことで、ワンチームとなり、最高のブロックになったと確信しています。

各地区の推進員の皆様と、楽しく仲良く活動できたことが何よりも良い思い出となりました。2年間、ありがとうございました。

あずまブロック（10名）　　会長 中村 浩美

（和 田）菅原 藤理、中村 浩美　（円 山）近藤　實、西川 雅子　　（啓 蒙）中廣　互、根本 幸恵
（岡 保）天谷 弘之、好川 普美　（東藤島）木村 敏彦、渡辺 多美子

活動テーマ

地域活動等における女性の参画の推進

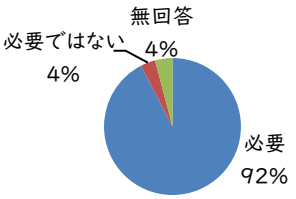
主な取組内容

R1　**女性の意識アンケート調査を実施**（10～70代の女性 144 名が回答）

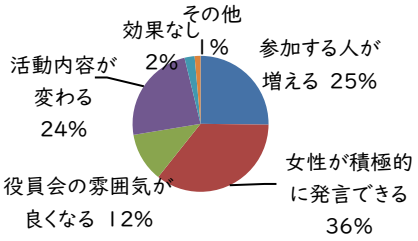
地域活動等における女性の参画について、各地区の公民館まつり等で女性にアンケートを実施

アンケート結果の一部を紹介

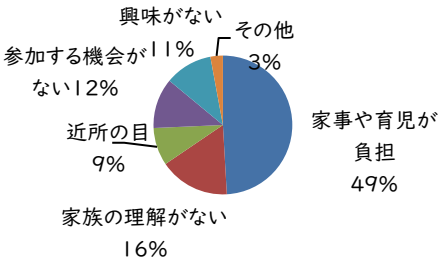
【地域活動に女性の参加は必要？】



【女性が役員になるメリットは？】



【女性の参加を妨げている要因は？】



結果を見ると・・・
・家庭内のことは、主に女性が担当
・女性が地域活動に参加するには、家族の理解が必要

問題点を共有し、みんなで考え、
地域で輝く女性を増やそう！

R2　**後藤ひろみ氏**（歴博茶房ときめぐる、カフェ。代表）**ミニ講演会**

女性が社会で活躍するには、ものすごくエネルギーが必要だということを改めて実感。
学んだことを、来年度からの活動に活かしていこうとメンバーで意見が一致

R1～2
・ブロック会議の開催（事業の企画、打合せ等）、広報誌の発行
・小学校での男女共同参画に関する出前講座の実施
・各公民館で新成人の意識アンケートの実施
・地区の防災訓練等への参加呼びかけ（チラシ配布）など

ま と め

小学校での出前講座や地区での新成人へのアンケート調査を継続して行ってきたことにより、少しずつ男女共同参画意識が浸透してきており、取組の成果を感じることができています。コロナ禍の中でも、アイデアを出し合い、新しい形の活動に取り組み、地域に男女共同参画の意識を拡げていきたい。

ブロックから一言

あずまブロックでは、例年、小学校での出前授業をはじめ、公民館まつりでの広報活動や、新成人への意識アンケートを行ってきました。しかし、令和2年度はコロナの影響を受け、大きく活動のやり方を変更せざるを得ませんでした。

公民館だよりに『共家事』に関する内容を掲載させて頂き、福井の家事・育児時間には男女で大きく差がある事を伝え、家族みんなで協力することを呼びかけました。

また、福井で幅広く活躍されている女性、後藤ひろみ氏に講師をお願いしてミニ研修会を行いました。身近でイキイキと活動されている方のお話の中には『地域活動の中にもっと女性が参加できるようになるためには？』のヒントがたくさんありました。この研修内容をもとに、次年度は問題点を分析し、男女を問わず、全ての人が楽しく地域活動に参加できるようになるために活動をしていけたらいいなと思っています。

九頭竜ブロック（10名）　会長 河原 友子

（西藤島）志田 正隆、須見 佐知子 （中藤島）森川 峰幸、黒岡 喜久尾 （河 合）上田 重幸、田中 ひとみ
（森　田）伊藤 二朗、中野 百合子 （明　新）板谷 悌三、河原 友子

活動テーマ

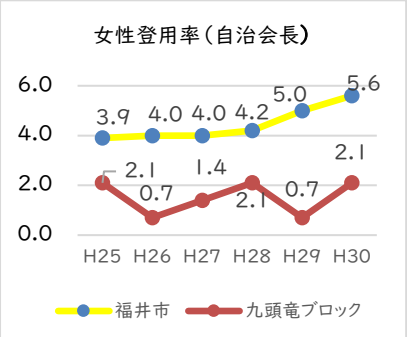
②地域活動等における女性の参画の推進

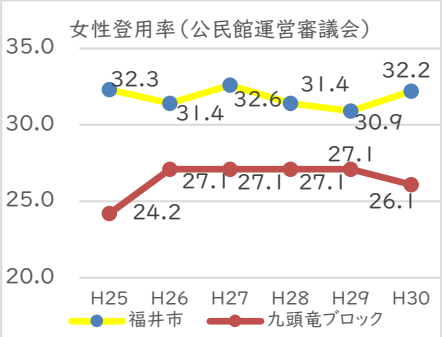
主な取組内容

R1

九頭竜ブロック内における女性の地域活動参画状況の調査

女性の自治会長や公民館運営審議会委員などへの参画状況ついて、調査を実施





九頭竜ブロックは、自治会長や公民館運営審議会委員への登用率は、市全体平均よりも低い

社会で活躍する女性とイクメンパパにインタビュー

・市PTA連合会長等経験：佐々木敦子氏
・公民館運営審議会委員長等経験：田村洋子氏
・5 人の子を持つイクメンパパ：小川敏伸氏

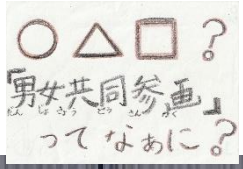
社会で活躍する女性の背景には、
「協力的な家庭の存在」があることを改めて認識

→調査結果等をまとめた広報紙を発行（ブロック内全戸回覧）

R2

「地域社会における女性の活躍」をテーマに朗読劇の作成

・女性の町内会長誕生や子連れ参加できる自治会等、新しい様式を創作朗読劇で提案
・朗読劇の披露、座談会を開催（11/28 中藤島公民館 40名参加）



R1～2

・ブロック会議の開催 （事業の企画、打合せ等）
・地区の防災訓練等への参加呼びかけ（チラシ配布） など

ま と め

地域活動における女性の参画・参加状況は、地区によって違いがあった。「町内の役員は男」との風習が根強く残っていることや、女性が活動する組織の有無等が関係しているのかもしれない。

ブロックから一言

「地域活動等における女性の参画の推進」をテーマに事業活動を行いました。1年目には、「男女共同参画社会の実現をめざして」と題し、ブロック内における女性参画の現状と分析、そして社会で活躍する女性の方、それを支える“イクメンパパ”の方へのインタビューを内容として広報紙を発行しました。

2年目には、この広報紙の内容を基に朗読劇を作成し、中藤島公民館にて、この劇の上演、座談会そして小演奏会を一連としたイベントを開催しました。

女性が社会に参画し、活躍していける背景には協力的に応援しあえる家庭環境と、女性をより迎え入れ、協働していける社会組織の両方の存在が不可欠です。「お子様連れでも参加しやすい自治会、会合の新しい形」を例として提案し、豊かな地域社会の更なる発展を考えました。

光ブロック（16名）　会長 橋詰 直英

（安 居）児玉 定美、永井 陽子　（一 光）竹内 慶一、竹田 満里子　（殿 下）高橋 秀隆、奥田 いづみ
（越 廼）高村 一男、杉田 美代子　（清水西）木下 成三、渡辺 和子　（清水東）橋詰 直英、田中 和代
（清水南）荻野 正春、上田 純子　（清水北）金平 信夫、白﨑 悦子

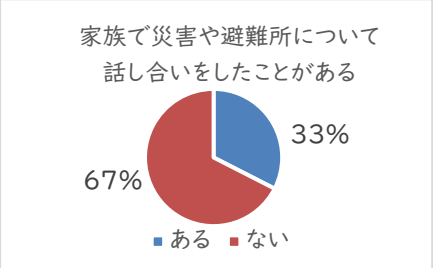
活動テーマ

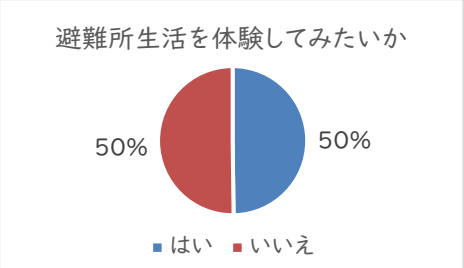
③男女共同参画の視点を踏まえた防災

主な取組内容

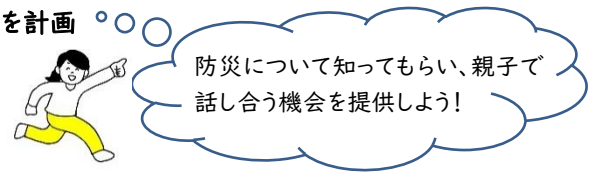
R1　**防災に関するアンケート調査の実施**

光ブロック内の小学5･6年生を対象に防災に関するアンケートを実施。（243名が回答）





・避難所について家族で話し合いをしたことがある人の割合は約30%
・避難所に必要な物は、wi-fi、ゲーム、お金、動物等と子ども達視点の回答であった
　⇒ **親子での避難所生活体験を計画**



R2　**市政出前講座「ご存知ですか、福井市の防災対策」を受講**

感染症対策を踏まえた避難所の対応や避難所生活について学んだ
非常食のアレンジなど、工夫できそうなことについて検証

R1～2
・ブロック会議の開催 （事業の企画、打合せ等）
・地区の防災訓練等への参加呼びかけ（チラシ配布） など

ま と め

新型コロナウイルス感染症の拡大により、親子での避難所生活体験を開催できなかったことは残念であるが、これまでの防災知識に加え、感染症対策の知識が必要となった。改めて、男女が一緒に話し合い、それぞれの視点を取り入れた防災への備えが大切であると感じた。

ブロックから一言

当初は、親子での避難所生活の体験を通して、避難所運営には女性の視点を取り入れることが重要であることを周知していきたいと思っていました。
そんな中、新型コロナウイルス感染症が拡大。「今、災害が起きたら、私達はどうしたらよいのか？」
感染症対策を講じた避難所運営について学び、その上で男女双方の視点を取り入れることの大切さについて話し合いました。

川西ブロック（14名）　会長 前田 政範

（大安寺）畑 敏一、清水 すみえ　（国 見）金崎 孝昭、伊藤 佐智恵　（ 鶉 ）清川 清治、田行 史子
（ 棗 ）上木 善左ェ門、黒川 美恵子　（鷹 巣）岩田 謙二、坂下 芳恵　（本 郷）前田 政範、伊藤 光恵
（宮ノ下）藤田 薫、久津見 静枝

活動テーマ

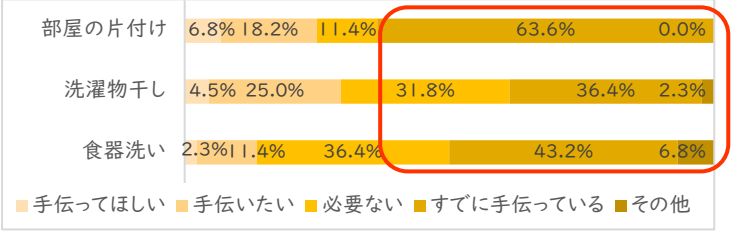
①家庭における男性の活躍の推進

主な取組内容

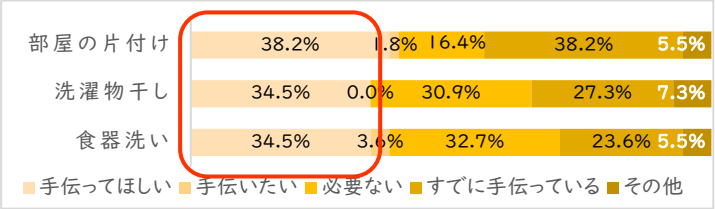
R1　男女共同参画に関するアンケート調査と紙芝居の披露

・国見地区文化祭（10/27）で20代以上の男女に、男女共同参画に関する理解度や、家事分担についてアンケート実施（99 名回答）

【男性】



【女性】



結果は･･･

・男性の約6～7割の人が、洗濯や掃除、食器洗い等の「家事を手伝っている」という意識がある。

・女性の3人に１人は、「手伝ってほしい」と思っている。

R2　男女共同参画啓発DVD「みんななかよしかわにし」の作成

男女共同参画について理解を得るために、小学生向けにDVDを作成し、ブロック内の小学校へ配付

DVDの動画はこちら↑

R1～2

・ブロック会議の開催 （事業の企画、打合せ等）

・地区の防災訓練等への参加呼びかけ（チラシ配布） など

ま と め

１年目のアンケート結果から、家事に対する男女の意識の差を埋める必要がある。男性の家事等への参画を促し、分担意識を持てるような啓発活動に取り組んでいけるとよい。

ブロックから一言

例年、市男女共同参画事業を推進しております。令和元年度は、「家庭における男性の活躍の推進」について、国見地区住民の皆さんに御協力いただき、アンケート調査を実施しました。なかでも、家事において、若い夫婦の男性の参画、協力が不足気味という結果でした。

2年目には、この若い夫婦における男性の家事参画を推し進める企画を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、地域行事が中止となるなど思うような活動ができませんでした。そんな中、色々と検討した結果、全員で「子ども向けに男女共同参画のDVDを作成しよう！」ということになり、自分たちが出演して作成。小学生に見てもらえるように、地域内の小学校へ配付しました。子どもたちから、どんな感想がもらえるか･･･楽しみです。

足羽ブロック（14名）　会長 山形 健治

（酒 生）山形 健治、酒生 真弓　（一 乗）吉田 義量、朝倉 真由美　（上文殊）大谷 真一、林 真理
（文 殊）藤井 哲也、瀬尾 美奈　（六 条）上田 広輝、加藤 恵子　（東 郷）帰山 利和、竹内 富美子
（美 山）清水 九十九、山﨑 洋美

活動テーマ

④地域の課題解決を目指す

主な取組内容

R1

世界の男女共同参画社会について知ろう！

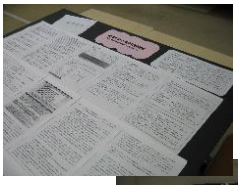
家庭での家事や育児の分担は？
地域での役員や奉仕作業は？
職場は、どうなっているの？

外国人との意見交換会を企画したが、新型コロナウイルスで中止に

R2

「世界の男女共同参画の歴史と現状について」の学習会

・ヨーロッパ、アメリカ合衆国、中国、東南アジア（フィリピン、ベトナム等）ブラジル、日本の男女共同参画について調査
調査内容は、「世界の男女共同参画と日本の実情調査」としてまとめ、小冊子を作成
推進員の男女共同参画への理解を深めるとともに、住民が閲覧できるようブロック内の公民館へ配付



婚活事業「出愛ふれあい in 古民家」の開催

男女14名が参加し、2組のマッチングに成功！！
自己紹介やゲーム、餅つき体験を実施し、参加者同士で親睦を深め合うことができた

R1～2

・ブロック会議の開催 （事業の企画、打合せ等）
・地区の防災訓練等への参加呼びかけ（チラシ配布） など

ま と め

世界の男女共同参画について調べた調査結果から、今の日本の男女共同参画に何が必要かを考え次年度にいかしたい。また、コロナ禍での婚活事業は、オンラインでの開催も視野に入れていきたい。

ブロックから一言

令和元年度、推進員の交代があったため、意見が熟成するまで期間を要しました。令和元年度末と２年８月に、外国人を交えた男女共同参画に関する意見交換会を企画するもコロナ禍のため、ともに中止に。代わりに、各国の男女共同参画の歴史と現状についてブロック内で学習会を行いました。「世界の男女共同参画と日本の実情調査」としてまとめ、推進員の男女共同参画への理解を深めるとともに、公民館へ配布しました。
また、古民家を利用した婚活事業「出愛ふれあい in 古民家茶屋」を実施し、14 名の男女参加者がそれぞれ親睦を深めあった。結果的に、2組のカップルができたとともに、参加者を確保する段階で各所にて出会いの機会を持ち出すことで少子化対策になったと感じている。

不死鳥のねがい（福井市市民憲章）

わたくしたちは　不死鳥福井の市民であることに誇りと責任を感じ
郷土の繁栄と幸福をきずくため　力をあわせ　不屈の気概をもって
このねがいをつらぬきましょう

実践目標（平成３１年4月～令和4年3月）

1　すすんで　親切をつくし 愛情ゆたかなまちを　つくりましょう	あいさつで　ふれあうよろこび　深める絆
2　すすんで　健康にこころがけ 明朗で活気あるまちを　つくりましょう	スポーツで　広がれつながれ　元気の輪
3　すすんで　くふうをこらし 清潔で美しいまちを　つくりましょう	ふるさとを　今よりもっと　美しく
4　すすんで　きまりを守り 安全で住みよいまちを　つくりましょう	たかめよう　交通マナーと　防災意識
5　すすんで　教育を重んじ 清新な文化のまちを　つくりましょう	ふくいの魅力　学んで知って　広めよう

(昭和３９年6月２８日制定)

不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進協議会

福井市